

# 「あらかわの心」ニュース



第10号 平成22年3月10日発行

〔発行〕「あらかわの心」推進運動区民委員会  
 〔事務局〕〒116-8501 荒川区荒川 2-2-3 荒川区子育て支援部児童青少年課内 TEL 3802-3111 内線 3833 FAX 3802-0809  
 〔メールアドレス〕 arakoko@city.arakawa.tokyo.jp 〔ホームページアドレス〕 http://www.arakawa.tokyo.jp/kosodate/index.html

## 「あらかわの心」 カルタ大会を 実施しました

2月6日、尾久ひろば館において「あらかわの心」推進運動区民委員会が作成したカルタを使ったカルタ大会を実施しました。

当日は、未就学児（小学校に入学する前の子さん）の部、小学1・2年生の部、3・4年生の部、5・6年生の部に分かれ、76名の参加者がカルタ取りに熱中しました。

競技では、参加者ばかりでなく、応援のご家族や友達も一体となり、次々と熱戦が繰り広げられました。

今回のカルタ大会を通して、きっと子どもたちも「あらかわの心」推進運動の取り組みが実感できたことでしょう。

各部の優勝者は以下のとおりです。（未就学児の部は2名）



▲一番はじめに取ったのはだれかな？

### 〈未就学児の部〉

上東野 明希さん（観音寺三河島幼稚園）  
川端 星輝くん（上尾久保育園）

### 〈1・2年生の部〉

田中 葉留香さん（尾久第六小学校2年）

### 〈3・4年生の部〉

高松 莉子さん（尾久第六小学校3年）

### 〈5・6年生の部〉

奈良野 日和さん（尾久宮前小学校5年）

## 第59回

## 「社会を明るくする運動」 作文コンテスト

1月5日、東京保護観察所において、第59回「社会を明るくする運動」作文コンテストの表彰式が行われました。

応募作品5439作品の中から、荒川区内の小学生4名の作品（優秀賞1名、佳作3名）が選ばれました。

そのほか、奨励賞（東京保護観察所長感謝状）を瑞光小学校が受賞しました。



▲山田桃子さん（左）が西川区長に受賞の報告をしました

### ☆佳作

#### 〈小学生の部〉

第三瑞光小学校6年 鳥山 日和さん

「ふつうという幸せ」

第三瑞光小学校6年 高塚 ひとみさん

「ことば」

〈中学生の部〉

第七中学校2年 村上 授穂さん

「少年犯罪に思うこと」

☆奨励賞（東京保護観察所長感謝状）

瑞光小学校

※受賞作品については、荒川区ホームページ内「あらかわ子育て支援サイト」でご覧いただけます。

### ☆更生保護法人東京保護観察協会理事長賞

#### 〈小学生の部〉

第三瑞光小学校6年 山田 桃子さん

「小さなモラルと思いやり」

## おせっかい体験談 子ども版



「あらかわの心」推進運動区民委員会では、区内の小中学生から「おせっかい体験談子ども版」を募集しました。そのうちのいくつかを紹介いたします。（回答は原文のままです）

設問	回答（小5 男子）	回答（中1 女子）
1 あなたが親切にしてあげて、喜ばれたことは何ですか。	バスの車内でお年寄りに席をゆずった。	小さい子が道で転倒してしまった時に、小学生だった私と他2人で手当てしてあげたりした。
2 その時なぜ親切にしたいと思ったのですか。	とても困っていらしたから。	私達が見て見ぬ振りをする、この子は泣いたままになる。それに自分自身が後悔すると思ったから。
3 また、親切にしてよかったことは何ですか。	ありがとうございます。もらった。	「ありがとうございます」と言われて心がすごく温かかったこと。幸せというのは、こういうことなんだろうなと実感した。
1 あなたが親切にしてもらって、うれしかったことは何ですか。	忘れ物をした時に貸してもらった。	パトロールの人が、夜暗い道などを一人で歩いてた時に一緒に付いて来てくれたこと。
2 その時どう思いましたか。また、自分ならどうしますか。	とてもうれしかった。素直に貸す。	今までの不安が一気に取り除かれた。それにうれしかった。私もそういうことを経験したので、同じことを他の人にもしてあげたい。
3 あなたは「おせっかい」とは、どういうことだと思いますか。	親切がエスカレートしてしまったもの。	人によっては嫌な意味にとらえがちの人が多と思うが、私にとっては「他人のことまで愛すること」だと思う。

## 荒川区内万引き防止連絡会が発足

12月5日、南千住第二中学校において、南千住・荒川・尾久警察署の主催により、「荒川区内万引き防止連絡会」の発足式が開催されました。

当日は、区内関係者や地域の方々など約400人が参加し、荒川区長、南千住警察署長などの挨拶に続き、荒川区商店街連合会の島海会長が「万引きをしない、させない、見逃さない」等の万引き防止の宣誓を力強く行いました。

最近、万引きが増加しています。万引きは、犯罪への入口と言われ、より深刻な犯罪に発展させないためにも、警察や地域が一体となって防止対策を実施する必要があります。

地域ぐるみで防犯活動の推進を図り、荒川区全体を子どもたちが安心して暮らせる犯罪のない明るい街にしていきたいと思います。



▲連絡会発足式で西川区長が挨拶しました

### レインボー子ども会が 平成21年度心の東京革命推進モデルに指定されました

11月24日、心の東京革命推進協議会の研修会において、「子ども会によるあいさつ運動」と題して、事例発表を行いました。

レインボー子ども会では、平成14年から毎学期始めに尾久第六小学校の校門前で「あいさつ運動」を実施しています。この活動が評価され、今回指定していただいたものです。発表会では、同小学校



▲笑顔で喜んで受け取ってくれました

企画委員会の子どもたちから、「子ども会のお母さんたちと一緒にあいさつ運動をしたい!!」という提案を受け、共に取り組んだ嬉しい報告もできました。私たちの大きな実を結んだ気がしました。年末には、子どもたちが素敵なお正月飾りを作成し、民生委員さんのご協力のもと、地域の一人暮らしのお年寄りにお届けするという活動も行いました。子どもたちができあがった飾りを心を込めてお渡しすることで、お年寄りの皆さんは、笑顔で喜んで受け取ってください、年末の心が温まる、気持ちの良い活動となりました。これからもこのような活動を発展させ、一人でも多くの子どもの体に体験させたいと思っています。(レインボー子ども会 大場)

### 中しぐさを行いました

11月24日、第四中学校においてTokyoしぐさ事業を開催しました。

当日は桂才賀師匠にお越しいただき、師匠の落語を通じて面白おかしく江戸町人の心意気に触れることができました。また、江戸しぐさ体験では、傘かしげなど江戸の日常で行われていたしぐさを体験しました。

その後、小グループに分かれ、ディスカッションをしながら、現在の東京の日常に必要な思いやりの心を表現した「Tokyoしぐさ」を考えました。

この「しぐさ」は、学校生活と日常生活に関わる2つを考えました。学校生活に関するものは、「一四



▲実際に傘かしげをやってみました

中しぐさ」として、学校内に伝えていきます。また、日常生活に関するものは、より多くの人に知ってもらえるように、呼びかけていきたいと思っています。(東京青年会議所荒川区委員会 中原)

### 2009あらかわ子ども会大会

## 45周年記念！大ゲーム大会！！

11月29日に荒川公園と荒川自然公園において、大ゲーム大会を行いました。荒川公園ではネイチャーゲーム、荒川自然公園では自分の歩幅で距離を測るゲームなど体験型ゲームを行いました。

昼食は、区役所のレストランさくらでカレーライスを食べました。今回、この子ども会大会のために、いつもと味の違う特別なカレーライスを作っていたいただきました。どのような味だったかは内緒ですが、とてもおいしかったです。

最後は、区役所の本会議場を見学しました。子どもも大人も普段はなかなか入れない場所なので、いい経験になったと思います。閉会式も盛大に行うことができました。



▲議場で西川区長と記念撮影を行いました

将来、この参加者の中から、議場に立っている方が出ることを切に願っております。(荒川区少年団指導者連絡会 岡野)

## クリーンウォーク活動

11月29日の朝、都電能野前駅を中心とした東尾久の幅広い地域で初めてのクリーンウォーク活動を行いました。これは従来の会員のみの活動を拡げて、子どもからお年寄り、そして地域の方々にご参加願う規模の拡大と、清掃区域を線から面に拡げ、自分達のまちを自分達の手で守る意識の拡大をめざしたものです。

今回ご賛同くださった東尾久赤土町会のみなさんは町会事務所周辺、個人の方々は自宅前、会員は6方向に分れて東尾久区域を参加者235名で清掃しました。

都電の駅や線路周辺のタバコや空き缶、首都大学東京荒川キャンパス周辺の落葉など、場所ごとに状況は違いましたが、きれいに



▲みんなで協力して街をきれいにしました

なった町を眺めて皆清々しい気持ちになりました。子どもたちと一緒に活動することで環境教育になりました。今後、活動を広げていくことを一同で念じました。(荒川明るい社会づくりの会 富里)

## 第5回 しきなみ子ども短歌コンクール

第5回しきなみ子ども短歌コンクールにおいて、荒川区内の小学生4名の作品が入賞しました。

これは社団法人倫理研究所が全国の小学生を対象に6月〜9月にかけて募集を行い、63704名の応募の中から選ばれたものです。どの歌も、みんなみんな「あらかわの心」いっぱい、思いやり、優しさがあふれている歌ばかりです。(家庭倫理の会荒川区 竹沢)

<p><b>佳作</b></p> <p>おじいちゃん 暑いさなかに畑出て 私のために野菜を作る</p> <p>第九峡田小学校5年 木口 綾果さん</p>	<p><b>佳作</b></p> <p>かぶとむし もりをじゆうにとべたのに ごめんねせいむしケースだね</p> <p>第九峡田小学校5年 天賀谷 禎昭くん</p>
<p><b>入選</b></p> <p>部屋の中 いろんなものがおはなし中 使え使えと言っているかも</p> <p>汐入小学校5年 中田 優香さん</p>	<p><b>入選</b></p> <p>また秋に 来るとちがった都大会 くやし涙で白球見えぬ</p> <p>瑞光小学校6年 水野 横也くん</p>

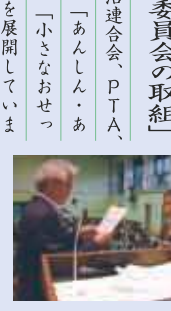
## 京都から来たよりが来ました

「あんしん・あぜん上鳥羽推進委員会の取組」  
京都市南区の上鳥羽学区では、自治連合会、PTA、小学校が協力して、平成18年4月に「あんしん・あぜん上鳥羽推進委員会」を設立し、「小さなおせっかい」がこころよい、まらづくり」活動を展開しています。

委員会では「向こう三軒両隣り安心安全の教珠つなぎマップづくり」や、竹プランターを通学路の家庭に配布して、朝夕の水やりの際に、子どもに声かけを行う運動等を実施しています。

平成21年2月には「上鳥羽ー小さなおせっかい宣言」を行いました。宣言式では「あらかわの心」推進運動のみなさんに寸劇を上演して頂きました。「七夕の夕」では、この「寸劇」を「上鳥羽ー小さなおせっかい寸劇」として、PTA等が上演しました。また、「小さなおせっかい」を題材にした、七夕飾り短冊を小学生に書いてもらい、「小さなおせっかい賞」を各学年から優秀賞を選定し表彰しました。

上鳥羽学区では住民の手作りの取組を基本に、今一度「近所づきあいを見直し、おせっかいを復活すること、」「まらの安心安全の地域再生」を目指しています。(立命館大学産業社会学部 石木)



▲小さなおせっかい賞